



# 清瀬市シルバー人材センター 第4期中期計画(概要版)

## スローガン

人生100年時代 このまちで、もっと輝く

会員がこれまで培った力を地域で活かし、これからも輝き続けるという決意を込めています。

### 計画策定の趣旨

- 昭和54年の高齢者事業団発足以来47年間、一貫して高齢者の就業機会の確保と地域福祉の向上に取り組んできました。
- 健康寿命の延伸や多様な働き方が求められる時代となり、センターの役割は就業だけでなく、**健康維持・フレイル予防・多世代交流**などの事業にも広がっており、会員が安心して活躍し続けられるセンターを目指し、本計画を策定します。

### 基本理念

- **自主・自立** 会員が主体性を持ち、事業運営に参加、自立した活動を行います。
- **共働・共助** 互いに協力し助け合い、仕事を分かち合い、共に働く喜びを共有します。
- **社会奉仕** 社会参加を通じて、地域の課題解決、地域社会の福祉向上に寄与します。

### 計画期間

- 令和8年度(2026)から令和12年度(2030)までの5年間とします。
- 社会環境や高齢化の進行状況を踏まえ、**中間年の令和10年度(2028)に中間評価**(会員・発注者への意識調査、専門部会での協議)を実施し、課題整理のうえ目標値等を見直すことで計画の実行性を担保します。

### SDGsの関わり

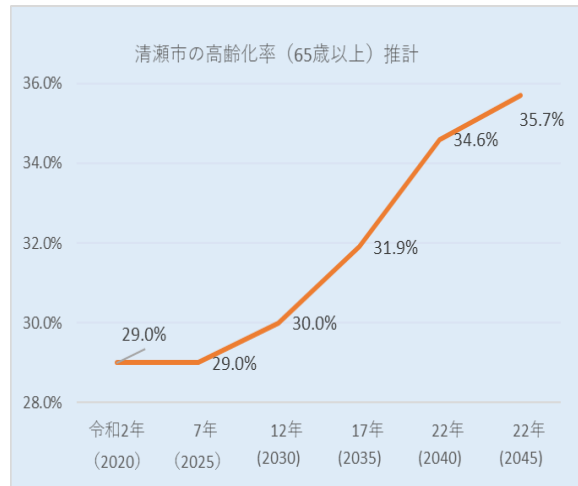
- センター業務は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)と幅広く関連しています
- 清瀬市は日本政府から**SDGs未来都市**に選定されており、センターとしても地域課題の解決と持続可能なまちづくりに引き続き貢献します。

# センターを取り巻く状況

## (1)社会的背景

### ・超高齢化社会の到来

高齢化率は全国と同水準で推移し、清瀬市では 2030 年に 30.0%、2045 年には 35.7%に達すると推計されています。平均寿命（2023 年）は男性 81.05 歳、女性 87.09 歳と 40 年前と比べ男女とも約 8 歳伸びています。



出典：東京都「区市町村別将来人口」

### ・定年制度の変遷

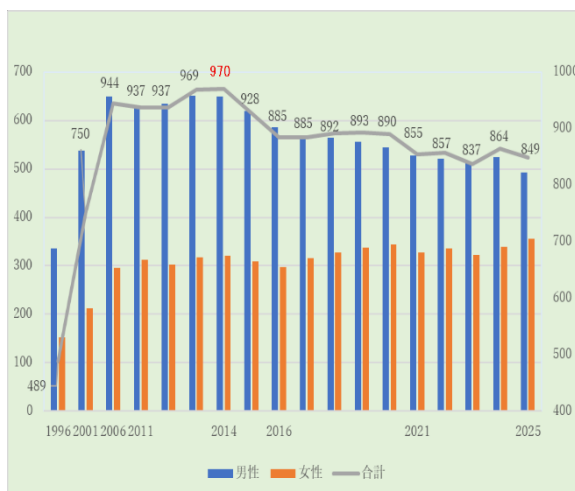
センター会員の年齢要件は 60 歳以上ですが、2021 年に 70 歳までの就業機会確保が努力義務化され、2025 年の入会者平均年齢は 71.2 歳となっています。

## (2)センターの現況と課題

### ○現状分析

- ・粗入会率は、多摩地域で上位の **3.3%**
- ・会員数は、ピーク時(2014 年：970 人)から 2025 年には **849 人**へ減少
- ・退会理由は、①健康上の理由、②希望する就業とのミスマッチが上位
- ・女性会員比率は **41.9%**へ増加
- ・会員平均年齢は **76.3 歳**へ上昇

会員数推移



## ○課題

- ① 体力を要する従来業務と、会員が希望する就業とのミスマッチが拡大しています。
- ② 最低賃金の上昇（東京都 2025 年：1,226 円）により、2030 年頃には 1,600 円に達する可能性があり、発注者の負担増による受注減少リスクがあります。
- ③ 発注者調査により労働者派遣事業の周知不足が明確になりました。

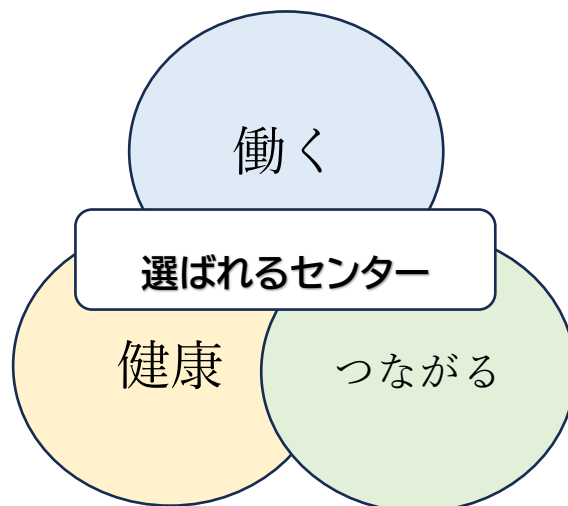
### 【施策目標の数値化】

以下 5 つの重点事業目標に紐づく施策について、可能な限り数値化した目標を設定し、客観的に達成度を評価できるようにします。

- 1 会員の増強と就業率の向上、2 就業機会の拡充、3 財政の健全化、
- 4 安全・適正就業の徹底、5 事業運営の活性化

中間評価では、目標値の達成可能性や妥当性を検証し、必要な改善につなげます。

## 選ばれるセンターを目指して



- ・会員アンケートの意見を踏まえて、以下の自主事業を充実させることにより、「新規会員に選ばれ・既存会員に退会されないセンター」を目指します。

- ・サロン事業の充実（居場所づくり・フレイル予防）
- ・サークル活動の開始（交流促進・生きがい就労）
- ・駄菓子屋の運営（多世代交流・軽作業による就業機会の提供）

# 重点施策

## (1) 会員増強・退会抑制【SDGs：目標 3、5、8、17】

- ①入会促進策：Web 入会の推進、利便性の高い入会説明会場の確保
- ②退会抑制策：会員ニーズに対応した屋内作業・事務系業務の開拓
- ③独自事業：駄菓子屋・サロンなどの充実
- ④未就業会員支援：キャリア コンシェルジュサポート

## (2) 就業機会の拡充【SDGs：目標 8】

- ①高齢者の就業機会の拡充：就業機会創出員による新規開拓
- ②既発注先へのパッケージ受注：医療・介護・保育園などへの営業強化
- ③労働者派遣事業の拡大：既発注者に派遣事業の丁寧な説明

## (3) 財政の健全化（デジタル化含む）【SDGs：目標 10、16】

- ①デジタル技術の活用による効率化：Smile to Smile の活用、キャッシュレス決済の導入、文書管理の電子化、AI 技術の活用、Web 受注の推進
- ②中期計画目標の効果測定：進行管理と評価（PDCA サイクルによる改善）

## (4) 安全・適正就業の徹底【SDGs：目標 10、16】

- ①適正就業：同一就業先長期継続会員の就業先変更、職群班マニュアルの整備
- ②会員研修：5年ごとの悉皆研修（接遇、個人情報保護、ハラスメント）、専門技術研修、クレーム台帳整備
- ③安全就業：運搬班の創設、管理車両の削減、職群別安全十箇条カード、SOS カードの就業時携行、自転車ヘルメット着用、熱中症予防対策の強化

## (5) 事業運営の活性化【SDGs：目標 3、5、11、17】

- ①広報活動（魅力発信）：SNS 発信、地域イベント参加による魅力発信
- ②地域班活動：地域班研修・会員交流の促進、地域班再編（11→4～5 地域）の検討
- ③センターへの愛着醸成：女性委員会の設置、専門部会委員の拡大（理事以外）

SDGs 目標	業務・活動内容
3 すべての人に健康と福祉を	健康づくり・生きがい支援、社会参加による健康維持と孤立防止
5 ジェンダー平等を実現しよう	女性会員の活躍推進、女性の就業機会拡大と委員会活動
8 働きがいも経済成長も	高齢者の就業支援、高齢者の経験を活かした就業機会の創出
11 住み続けられるまちづくりを	地域清掃・緑化活動、公園整備、剪定、除草などによる環境保全
10 人や国の不平等をなくそう	デジタル講習・格差対策、高齢者の情報格差解消と学習支援
16 平和と公正をすべての人に	包括契約・法令遵守、公正な契約と働き方改革への対応
17 パートナリシップで目標を達成しよう	地域連携・官民協働、行政・企業・市民との協働による地域づくり